

2021年2月 日

衆・参議院議員 ○○ ○○様

(団体名) ○○○民主医療機関連合会

(代表者名)

(住所)

## 75歳以上医療費窓口負担の2割化に反対して下さい

今通常国会において、75歳以上医療費窓口負担の2割化が盛り込まれた「健康保険法等改正案（全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案）」が審議入りする予定です。

75歳以上の方で、1割の現在においても経済的理由で受診を控える事例が後を絶ちません。「75歳になれば、医療費が1割負担になると思っていたのに」と落胆の声も寄せられています。2割化にすれば、対象を所得によって区切ったとしても、受診抑制が広がることは確実です。「受療権」は全ての国民の権利であり、経済的な事由で受診を控える人がいること自体があってはなりません。

収入は、高齢になるにつれて減少し、収入に対する患者一部負担金の比率も、高齢になるほど上昇することが、日本医師会の調査からも明らかになっており、政府の「現役世代と負担を公平にする」建前は成り立ちません。また、同じく政府が建前としている「現役世代の負担軽減」について、現役世代の負担軽減は67円/月に過ぎず、詭弁と言わざるをえません。また、「健保財政の困難」も国庫負担割合の引き下げが元凶であり、高齢者の自己負担に転化することは許されません。国庫負担率を引き下げ前に戻すだけで、健保財政の困難は解消でき、75歳以上の医療費窓口負担2割化も全く必要ありません。

さらに、大企業、富裕層優遇の歪んだ税制を正せば、財源を確保することは十分にできます。政府の2割化にする建前は、ことごとく破綻しています。

この間、当連合会で取り組んだアンケートでも75歳以上の当事者の方から、「食事や衣料を削るしかない」「早く死ねと言われているようだ」と悲痛な怒りの声が、堰を切ったように次々と寄せられています。

75歳以上の医療費窓口負担の2割化は、受療権などの基本的人権を侵害し、高齢者の暮らしといのち、健康を奪う、あってはならない法案です。なんとしても廃案にするために、以下の通りお願いします。

### 《請願事項》

1. 75歳以上の医療費窓口負担の2割化に反対して下さい。

以上